

2017年8月

一般社団法人 日本開発工学会

第16回ビジネス・イノベーション研究会のご案内

研究会長（主査） 矢本成恒
研究会副査 原岡和生・立岩令

平素より大変お世話になっております。第16回の研究会をご案内いたします。

今回は、オープンイノベーションをテーマに取り上げ、その課題と解決策を考察したいとおもいます。ビジネス・アーキテクチャの研究者でもある小山武志氏からは新市場参入における開発組織の課題、また電子デバイスの研究開発に携わる黄鐘日氏からは、資源配分、異なる組織文化をいかに有機的に整合させるかという課題について講演をしていただきます。みなさまぜひご出席ください。

★ご出席いただける方は、資料と会場の関係から、以下 URL にお名前のご記入をお願いします。

<https://kanji.kodama.com/note.aspx?ac=3yqjoy0bj29nyjlg>

(会場の収容人数と資料準備の確認のためぜひご記入をお願いいたします)

1. 開催概要

- ・日時：2017年9月21日（木）18時50分から20時40分
- ・場所：中央区産業会館 第1集会室
- ・住所：東京都中央区東日本橋2-2-4
- ・地図：<http://www.chuo-sangyo.jp/access/access.html>
- ・当日参加費 会員1000円・非会員2000円

(会員・非会員いずれからも参加費を頂戴いたします。どうぞご理解をおねがいいたします)

- ・終了後に1時間程度の簡単な懇親会を予定しております。お時間の許す方はぜひご参加ください。

2. 研究発表（講演）

- (1) 19時00分から19時50分予定（発表約40分+質疑応答約10分）

(テーマ) ビジネス・アーキテクチャから見たオープンイノベーションについての考察

(発表者) エレクトロラックス・ジャパン株式会社 IT 部部長 小山武志

(略歴) MBA、情報技術修士（専門職）。1985年信越ポリマー株式会社入社、複数社で国内外のIT化を経験。この10年はグローバル企業において、ビジネスITとインフラストラクチャのプロジェクト及びサービスデリバリーを担当。社会人学生として、英国国立ウェールズ大学MBA取得。プロセス・イノベーションに興味を持ち、京都情報大学院大学東京サテライトにてビジネス・アーキテクチャを研究。

(概要) オープン・イノベーションをビジネス・アーキテクチャから考察します。ビジネス・アーキテクチャとはビジネスの構成要素の相互依存関係(Inter dependency)です。イノベーションはプロダクトだけでなくサービスによる便益を創造し、新たな情報、知識、感覚が発生します。そこで、本発表ではソフトウ

エア開発やプロセス・イノベーションを中心にオープン化の意義を論じたいと思います。これらをビジネス・アーキテクチャの構成要素としてプロセスとデータ、情報、知識という観点から整理していきたいと思っています。

(2) 19時50分から20時40分(発表約40分+質疑応答約10分)

(テーマ) オープンイノベーションによる新市場参入における開発組織の課題についての考察

(発表者) 株式会社東芝 研究開発センター 電子デバイスラボラトリー 研究主務 黄 鐘日
名古屋商科大学大学院マネジメント研究科教授イノベーション経営研究所代表 矢本成恒

(略歴)

- ・黄鐘日：博士（科学）。2007年東芝入社後、研究開発センターにて個別半導体デバイスの研究に従事。2013年から個別半導体事業部にて半導体製造事業の新規立上げに従事。海外現地法人の開発センターとの連携業務も推進。現在は研究開発センターにて先端電子デバイスの基礎研究に従事。2017年3月名古屋商科大学大学院マネジメント研究科（MBA）修了見込み。
- ・矢本成恒：博士（工学）・中小企業診断士。NTT 経営企画部門担当部長、コンサルティング会社役員を経て現職。研究ではイノベーション・マネジメント、実務では製造・IT・テレビ企業の新規事業の経営コンサルティングが専門。本学会理事・編集委員・本研究會主査。

(概要)

近年、革新的なサービスや機能を提供する新製品の開発スピードは加速している。技術革新の加速に伴い製品のコモディティ化も加速され、投資から新製品投入までの期間の短縮が要求されている。よって、研究・開発から製造までを一貫して実施する開発モデルは、すでに競争力の源泉となりつつある。一方、社外組織と連携し、要素技術を外部から取り入れて開発を加速するオープンイノベーションが注目されている。しかし、オープンイノベーションにも課題がある。たとえば、研究、開発、生産の各ステージの連携と資源配分、互いに異なる組織文化や企業風土の有機的整合などである。このような課題を解決し適切な開発戦略を構築することが必要になっている。

本発表では、製造業におけるオープンイノベーションの動向を概観し、オープンイノベーションにより新規市場へ参入した事例において、その開発戦略の課題を明らかにし、解決策を考察したい。

★ テーマや講演要旨については若干の変更がある場合もあります。

皆様のご出席をお待ちいたしております。

以上